2026年度　JP響灘余水処理施設　放流水分析結果

◆廃棄物処分場の場内水を排水処理施設で放流基準を満足する水質まで浄化処理し、海域へ放流しています。なお、CODとSSについては法規則の値より低い自主基準（監視目標値）を設定しています◆

分析項目	単位	放流基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	定量下限値
カドミウム及びその化合物	(mg/L)	0.03	ND												0.003
シアン化合物	(〃)	1	ND												0.1
有機りん化合物	(〃)	1	ND												0.1
鉛及びその化合物	(〃)	0.1	ND												0.01
六価クロム化合物	(〃)	0.2	0.07												0.02
ひ素及びその化合物	(〃)	0.1	0.01												0.01
水銀及びアルキル水銀その他水銀化合物	(〃)	0.005	ND												0.0005
アルキル水銀化合物	(〃)	検出されないこと	－												0.0005
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	(〃)	0.003	ND												0.0005
トリクロロエチレン	(〃)	0.1	ND												0.01
テトラクロロエチレン	(〃)	0.1	ND												0.01
ジクロロメタン	(〃)	0.2	ND												0.02
四塩化炭素	(〃)	0.02	ND												0.002
1,2-ジクロロエタン	(〃)	0.04	ND												0.004
1,1-ジクロロエチレン	(〃)	1	ND												0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン	(〃)	0.4	ND												0.04
1,1,1-トリクロロエタン	(〃)	3	ND												0.3
1,1,2-トリクロロエタン	(〃)	0.06	ND												0.006
1,3-ジクロロプロペン	(〃)	0.02	ND												0.002
チウラム	(〃)	0.06	ND												0.006
シマジン	(〃)	0.03	ND												0.003
チオベンガルブ	(〃)	0.2	ND												0.02
ベンゼン	(〃)	0.1	ND												0.01
セレン及びその化合物	(〃)	0.1	0.04												0.01
1,4-ジオキサン	(〃)	0.5	ND												0.05
ほう素及びその化合物	(〃)	230	9.7												0.1
ふっ素及びその化合物	(〃)	15	1.4												0.2
アンモニア、アンモニウム化合物亜硝酸化合物及び硝酸化合物	(〃)	100	ND												1
水素イオン濃度(pH)	(－)	5.0～9.0	7.5												―
化学的酸素要求量(COD Mn)	(mg/L)	90(20※)	2.1												1
溶解性COD Mn	(〃)	―	－												1
溶存酸素量	(〃)	―	9.6												0.5
浮遊物質量(SS)	(〃)	60(20※)	ND												1
ノルマルヘキサン抽出物質量	(〃)	5	ND												1
フェノール類含有量	(〃)	5	ND												0.5
銅含有量	(〃)	3	ND												0.1
亜鉛含有量	(〃)	2	ND												0.1
溶解性鉄含有量	(〃)	10	ND												0.5
溶解性マンガン含有量	(〃)	10	ND												0.5
クロム含有量	(〃)	2	0.07												0.05
大腸菌数	(CFU/mL)	800	ND												1
窒素含有量	(mg/L)	120	1												0.5
りん含有量	(〃)	16	0.05												0.05
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	10	－												―
備　考															

注1.「※」は、自主基準 「N.D.」は、定量下限値（量ることが可能な最小量（値）又は濃度）未満を表します。

単位：m^3

（参考）

処理水の放流量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	59,911												59,911